

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】令和 3 年 10 月 21 日 (2021.10.21)

【公開番号】特開 2020-105298 (P2020-105298A)

【公開日】令和 2 年 7 月 9 日 (2020.7.9)

【年通号数】公開・登録公報 2020-027

【出願番号】特願 2018-243723 (P2018-243723)

【国際特許分類】

C 0 9 D 11/322 (2014.01)

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

【F I】

C 0 9 D 11/322

B 4 1 M 5/00 1 2 0

B 4 1 M 5/00 1 1 2

B 4 1 M 5/00 1 0 0

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 9 月 10 日 (2021.9.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

低吸液性印刷媒体へのインクジェット印刷用水系インクであって、
顔料、ポリマー分散剤、水溶性有機溶媒、及び水を含む、
該水溶性有機溶媒中に、両末端に水酸基を有する炭素数 4 以上 6 以下のアルカンジオール、ジプロピレングリコール、及び 2 - ピロリドンから選ばれる 1 種以上の有機溶媒を 90 質量 % 以上 98 質量 % 以下 含む、インクジェット印刷用水系インク。

【請求項 2】

両末端に水酸基を有する炭素数 4 以上 6 以下のアルカンジオールが、1, 4 - ブタンジオール、1, 5 - ペンタンジオール、及び 1, 6 - ヘキサンジオールから選ばれる 1 種以上である、請求項 1 に記載のインクジェット記録用水系インク。

【請求項 3】

顔料が、顔料を含むポリマー粒子の形態である、請求項 1 又は 2 に記載のインクジェット印刷用水系インク。

【請求項 4】

顔料を含むポリマー粒子の平均粒径が 40 nm 以上 200 nm 以下である、請求項 3 に記載のインクジェット記録用水系インク。

【請求項 5】

顔料を含むポリマー粒子を構成するポリマーが、イオン性モノマー (a - 1) と、疎水性モノマー (a - 2) とを含む原料モノマー (a) を共重合させてなるビニル系樹脂である、請求項 3 又は 4 に記載のインクジェット記録用水系インク。

【請求項 6】

顔料を含むポリマー粒子が、架橋剤で架橋されてなる、請求項 3 ~ 5 のいずれかに 記載のインクジェット印刷用水系インク。

【請求項 7】

架橋剤が、炭素数 3 以上 8 以下の炭化水素基を有する多価アルコールのポリグリシジル

エーテル化合物である、請求項 6 に記載のインクジェット記録用水系インク。

【請求項 8】

更に、顔料を含有しないポリマー粒子 B を含有する、請求項 1 ～ 7 のいずれかに記載のインクジェット記録用水系インク。

【請求項 9】

更に、アセチレングリコール系界面活性剤及びシリコン系界面活性剤から選ばれる 1 種以上の界面活性剤を含有する、請求項 1 ～ 8 のいずれかに記載のインクジェット記録用水系インク。

【請求項 10】

低吸液性印刷媒体がポリエチレンテレフタレート又はポリプロピレンである、請求項 1 ～ 9 のいずれかに記載のインクジェット印刷用水系インク。

【請求項 11】

軟包装印刷用である、請求項 1 ～ 10 のいずれかに記載のインクジェット印刷用水系インク。

【請求項 12】

請求項 1 ～ 11 のいずれかに記載の水系インクのフルカラー印刷用インクセット。

【請求項 13】

請求項 1 ～ 11 のいずれかに記載の水系インクを用いて、低吸液性印刷媒体に印刷する、インクジェット印刷方法。

【請求項 14】

印刷面を 70 以下の温度で加熱する、請求項 13 に記載のインクジェット印刷方法。